令和５年版

群馬県の治安情勢

群　馬　県　警　察　本　部

凡　　例

本資料における用語等の意義は、次のとおりである。

１　刑法犯

特に断りのない限り、道路上の交通事故に係る危険運転致死傷（改正前の刑法２０８条の２の危険運転致死傷をいう。以下同じ。）、業務上（重）過失致死傷及び自動車運転過失致死傷（改正前の刑法２１１条２項の自動車運転過失致死傷をいう。以下同じ。）を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪ニ関スル件」、「暴力行為等処罰ニ関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火炎びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあっせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

２　特別法犯

上記１の「刑法犯」以外の罪をいう。ただし、特に断りのない限り、道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷及び自動車運転過失致死傷及び「自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律」に規定する罪並びに「道路交通法」、「道路運送法」、「道路運送車両法」、「道路法」、「自動車損害賠償保障法」、「高速自動車国道法」、「駐車場法」、「自動車の保管場所の確保等に関する法律」、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法」、「タクシー業務適正化特別措置法」、「貨物利用運送事業法」、「貨物自動車運送事業法」、「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律」及び「自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律」に規定する罪を除く。

３　刑法犯の分類

凶悪犯　・・・・・・・・・　殺人、強盗、放火及び強制性交等

粗暴犯　・・・・・・・・・　暴行、傷害、脅迫、恐喝及び凶器準備集合

窃盗犯　・・・・・・・・・　窃盗

４　認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

５　検挙件数

警察で検挙した事件の数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

６　検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を次のとおり計算して百分率で表したものをいう。

$$\frac{\text{検挙件数（当該年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

７　検挙人員

警察において検挙した被疑者の数をいう。

目　　次

ページ数

1　刑法犯認知・検挙状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2　重要犯罪認知・検挙状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

3　重要窃盗犯認知・検挙状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

4　窃盗犯認知・検挙状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

5　特殊詐欺認知・検挙状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

6　少年犯罪検挙人員状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

7　暴力団犯罪検挙人員状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

8　来日外国人犯罪検挙人員状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

9　交通人身事故発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

10　ストーカー事案及び配偶者からの暴力事案対応状況 ・・・・・・・・ 10

11　児童虐待事案対応状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

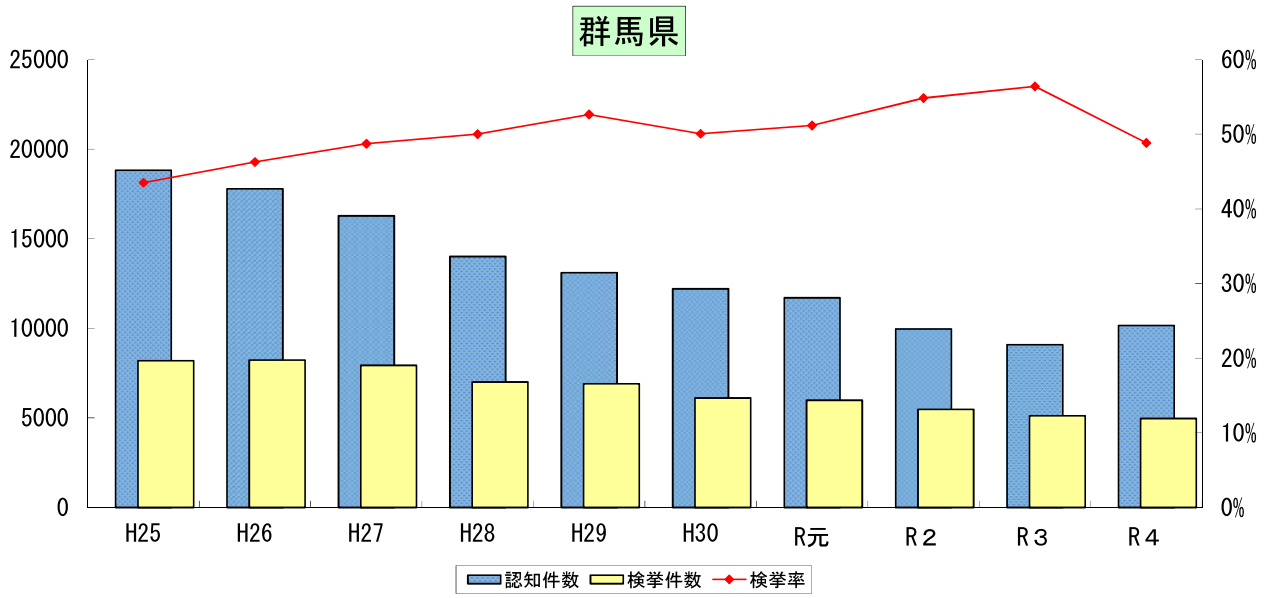
12　１１０番通報受理状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

13　警察安全相談受理状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

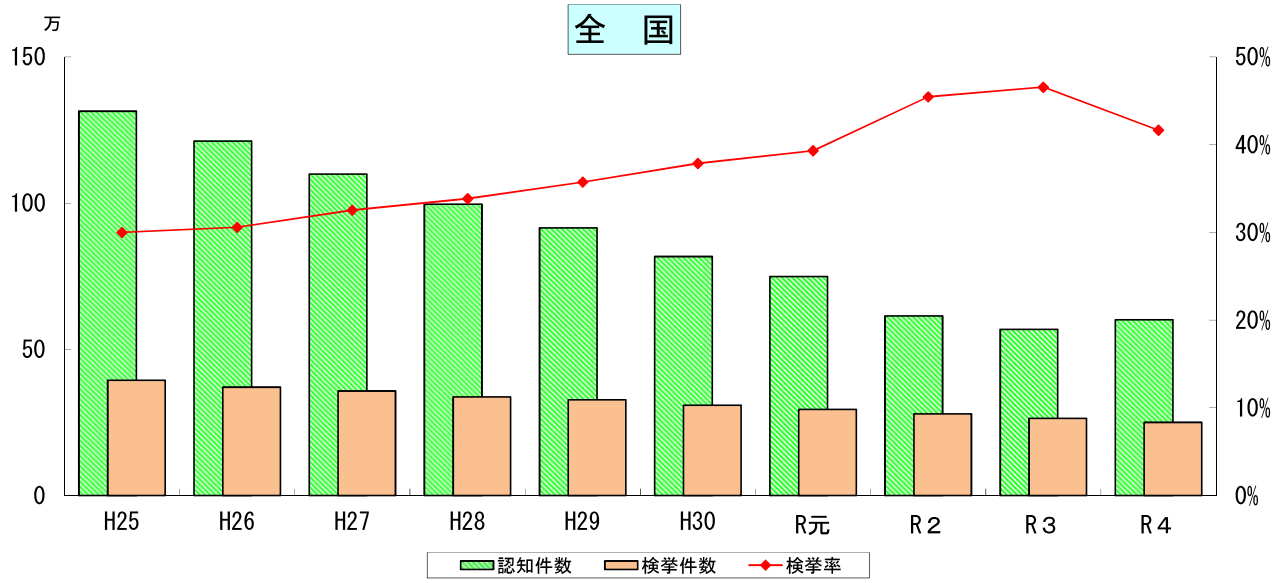
14　サイバー犯罪の相談・検挙状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

15　警察署別治安状況（令和4年中） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

1　刑法犯認知・検挙状況



区分＼年別		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数		18, 820	17, 782	16, 275	14, 006	13, 105	12, 201	11, 699	9, 965	9, 079	10, 159
	人口１０万人当たり	930	880	809	698	656	613	591	506	464	523
	全国順位	16	13	12	13	13	13	11	10	10	8
検挙件数		8, 188	8, 229	7, 931	7, 004	6, 899	6, 110	5, 987	5, 465	5, 121	4, 962
検挙人員		4, 249	4, 627	4, 644	4, 063	3, 758	3, 495	3, 318	3, 151	3, 036	2, 676
検挙率		43. 5%	46. 3%	48. 7%	50. 0%	52. 6%	50. 1%	51. 2%	54. 8%	56. 4%	48. 8%



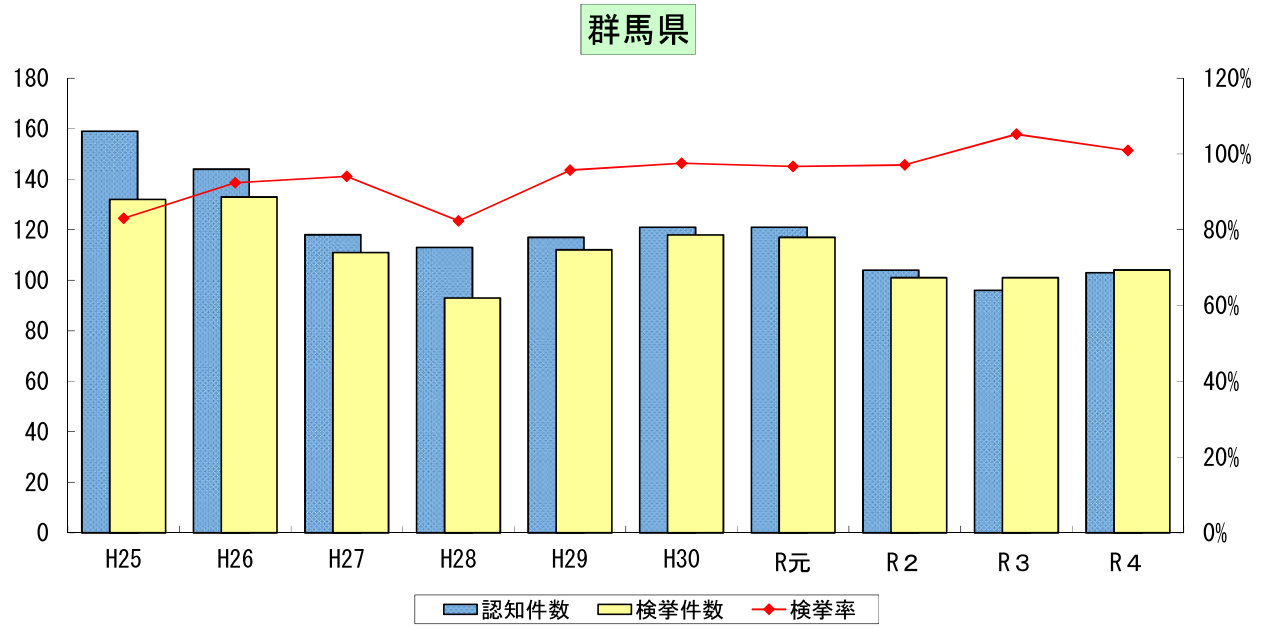
区分＼年別		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数		1, 314, 140	1, 212, 163	1, 098, 969	996, 120	915, 042	817, 338	748, 559	614, 231	568, 104	601, 331
	人口１０万人当たり	1, 024	944	857	778	715	640	587	483	449	478
検挙件数		394, 121	370, 568	357, 484	337, 066	327, 081	309, 409	294, 206	279, 185	264, 485	250, 350
検挙人員		262, 486	251, 115	239, 355	226, 376	215, 003	206, 094	192, 607	182, 582	175, 041	169, 409
検挙率		30. 0%	30. 6%	32. 5%	33. 8%	35. 7%	37. 9%	39. 3%	45. 5%	46. 6%	41. 6%

本県の刑法犯認知件数は、平成16年をピークに令和3年まで17年連続で減少していたが、令和4年は10，159件(前年比＋1，080件)と、18年ぶりに増加した。
また、検挙率は、48．8%(前年比－7．6ポイント)で、7年ぶりに50%を下回った。
全国の刑法犯認知件数は、平成14年をピークに19年連続で減少していたが、令和4年は60万1，331件(前年比＋3万3，227件)となり、増加した。
また、検挙率は、41．6%(前年比－5．0ポイント)で、前年を下回った。

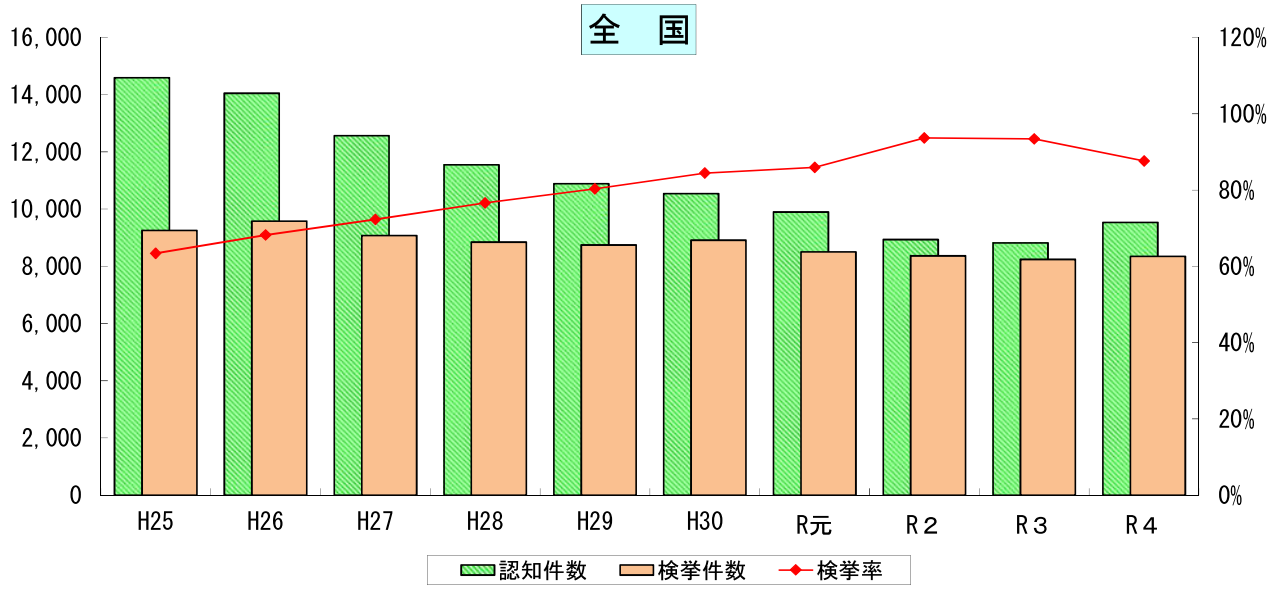
※ この頁の人口１０万人当たりの基になる人口については、各年１月１日現在（平成２５年以前は各年３月３１日現在）の住民基本台帳

２　重要犯罪認知・検挙状況

※　重要犯罪とは、殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつをいう。



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数	159	144	118	113	117	121	121	104	96	103
検挙件数	132	133	111	93	112	118	117	101	101	104
検挙人員	91	111	100	91	95	100	109	83	104	97
検挙率	83.0%	92.4%	94.1%	82.3%	95.7%	97.5%	96.7%	97.1%	105.2%	101.0%



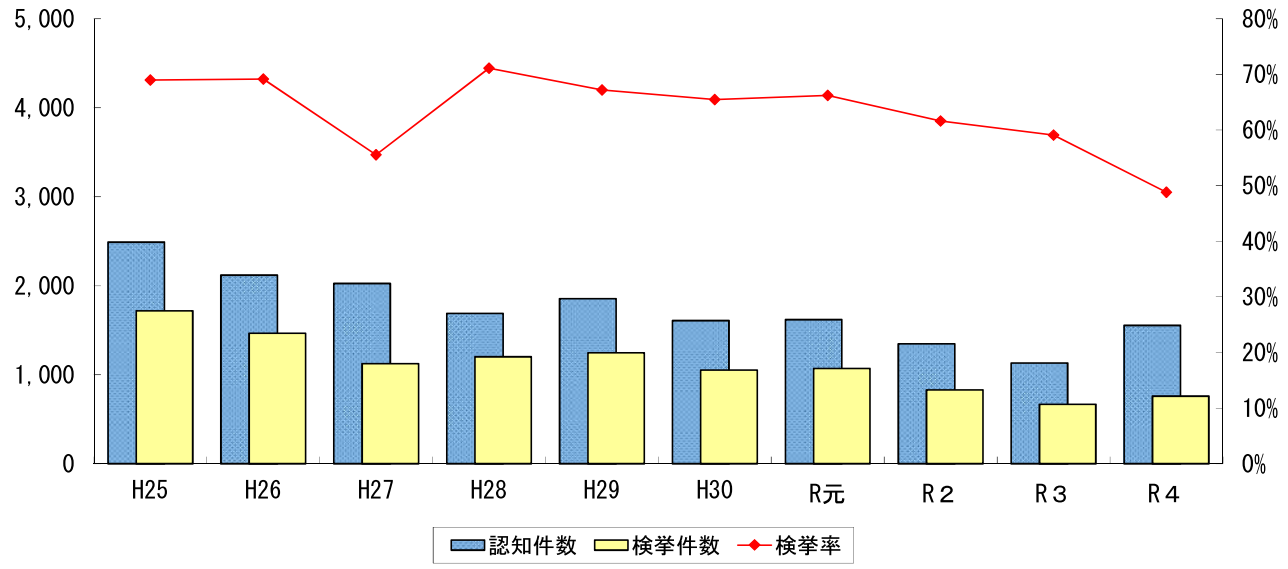
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数	14,596	14,051	12,565	11,546	10,888	10,544	9,899	8,935	8,821	9,535
検挙件数	9,255	9,579	9,082	8,843	8,747	8,908	8,507	8,369	8,240	8,353
検挙人員	7,288	7,326	7,213	7,236	7,090	7,373	7,386	7,317	7,372	7,422
検挙率	63.4%	68.2%	72.3%	76.6%	80.3%	84.5%	85.9%	93.7%	93.4%	87.6%

令和4年の本県の重要犯罪認知件数は、103件（前年比＋7件）であり、前年から増加した。
検挙率は、101．0%（前年比－4．2ポイント）であり、前年からやや減少した。
全国の重要犯罪認知件数は、平成26年から令和3年まで連続で減少していたものの、令和4年は9，535件（前年比＋714件）と9年ぶりに増加した。
検挙率については、令和4年は87．6%（前年比－5．8ポイント）で、3年ぶりに80%台に減少した。

３　重要窃盗犯認知・検挙状況

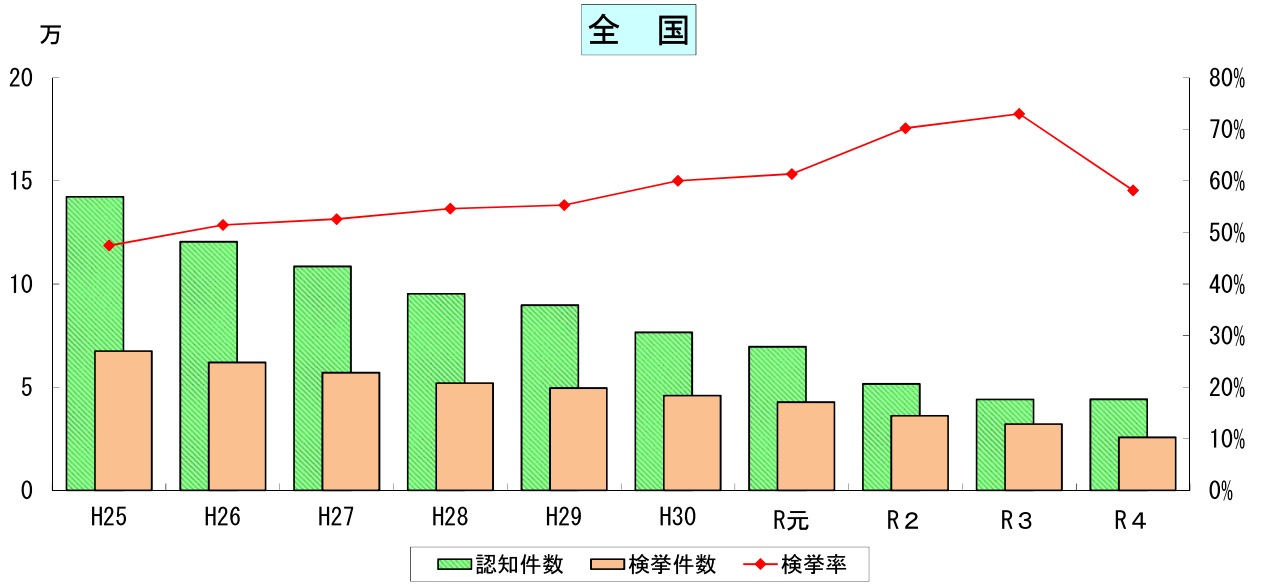
※　重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりをいう。

群馬県



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数	2,490	2,119	2,025	1,689	1,855	1,608	1,619	1,347	1,131	1,555
検挙件数	1,718	1,466	1,125	1,201	1,246	1,053	1,072	830	668	759
検挙人員	251	203	202	173	149	106	131	94	86	86
検挙率	69.0%	69.2%	55.6%	71.1%	67.2%	65.5%	66.2%	61.6%	59.1%	48.8%

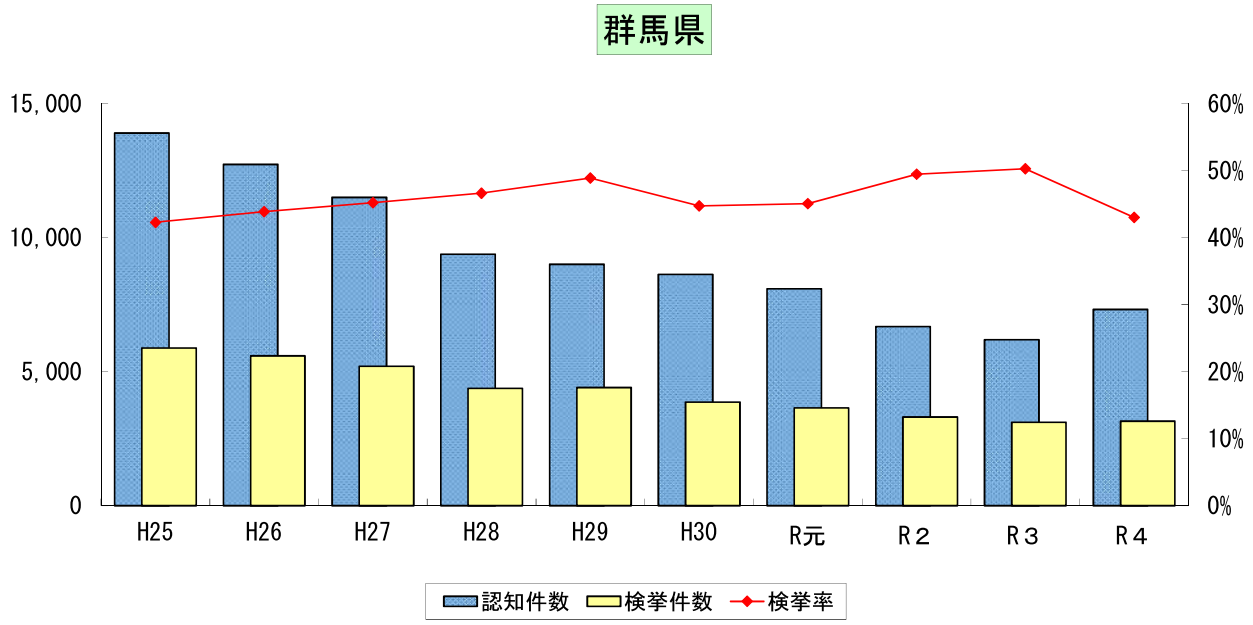
全　国



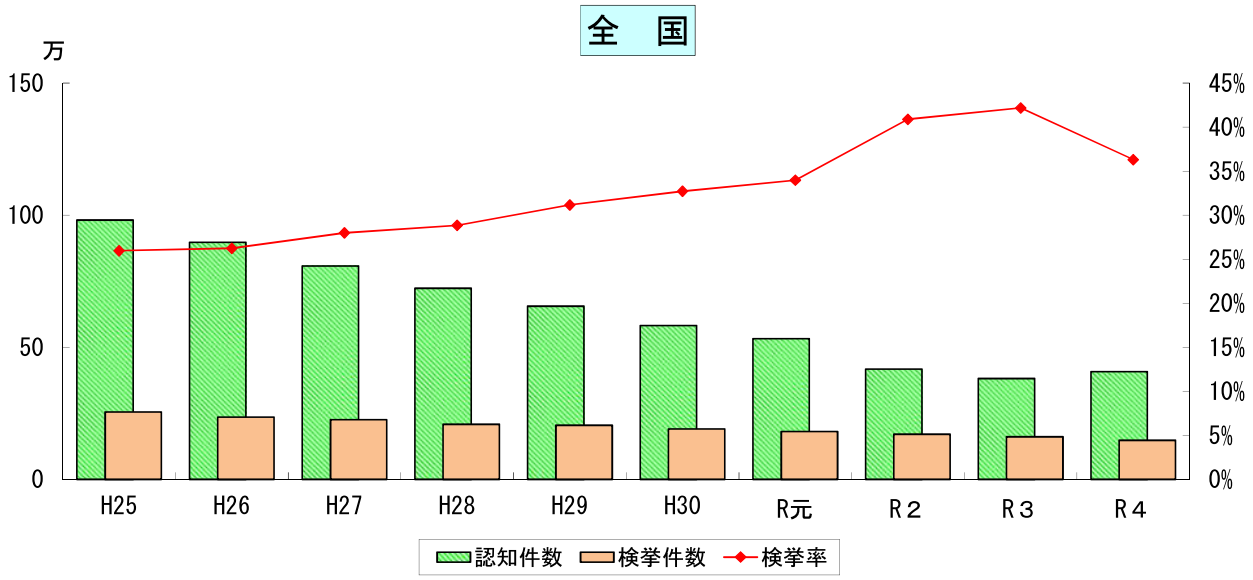
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数	142,259	120,488	108,558	95,302	89,753	76,574	69,645	51,604	44,076	44,150
検挙件数	67,521	61,999	57,108	52,040	49,627	45,960	42,722	36,244	32,177	25,686
検挙人員	12,052	10,958	10,328	9,600	9,337	8,474	7,793	7,000	6,294	6,082
検挙率	47.5%	51.5%	52.6%	54.6%	55.3%	60.0%	61.3%	70.2%	73.0%	58.2%

令和4年の本県の重要窃盗犯認知件数は、1，555件（前年比＋424件）であり、前年から増加した。
全国の重要窃盗犯認知件数は、平成14年をピークに19年連続で減少していたものの、令和4年は4万4，150件（前年比＋74件）とやや増加した。

4　窃盗犯認知・検挙状況



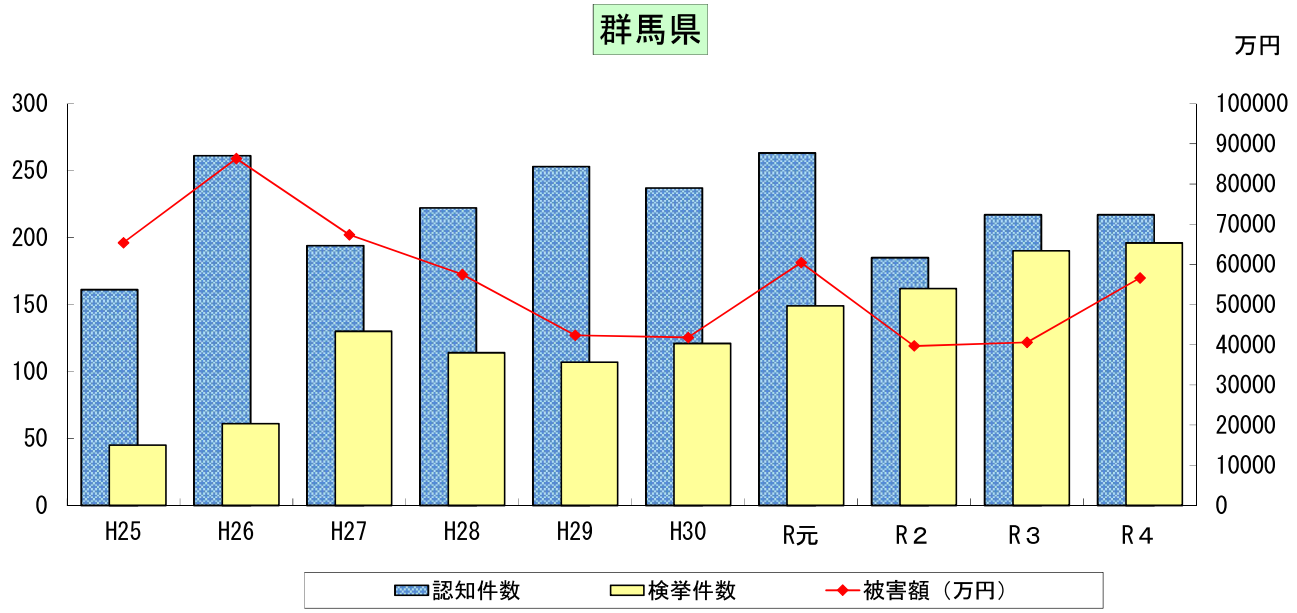
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数	13,905	12,735	11,505	9,384	9,007	8,629	8,095	6,684	6,192	7,321
検挙件数	5,884	5,587	5,202	4,378	4,407	3,863	3,650	3,306	3,114	3,151
検挙人員	2,316	2,275	2,206	1,830	1,736	1,558	1,461	1,425	1,300	1,172
検挙率	42.3%	43.9%	45.2%	46.7%	48.9%	44.8%	45.1%	49.5%	50.3%	43.0%



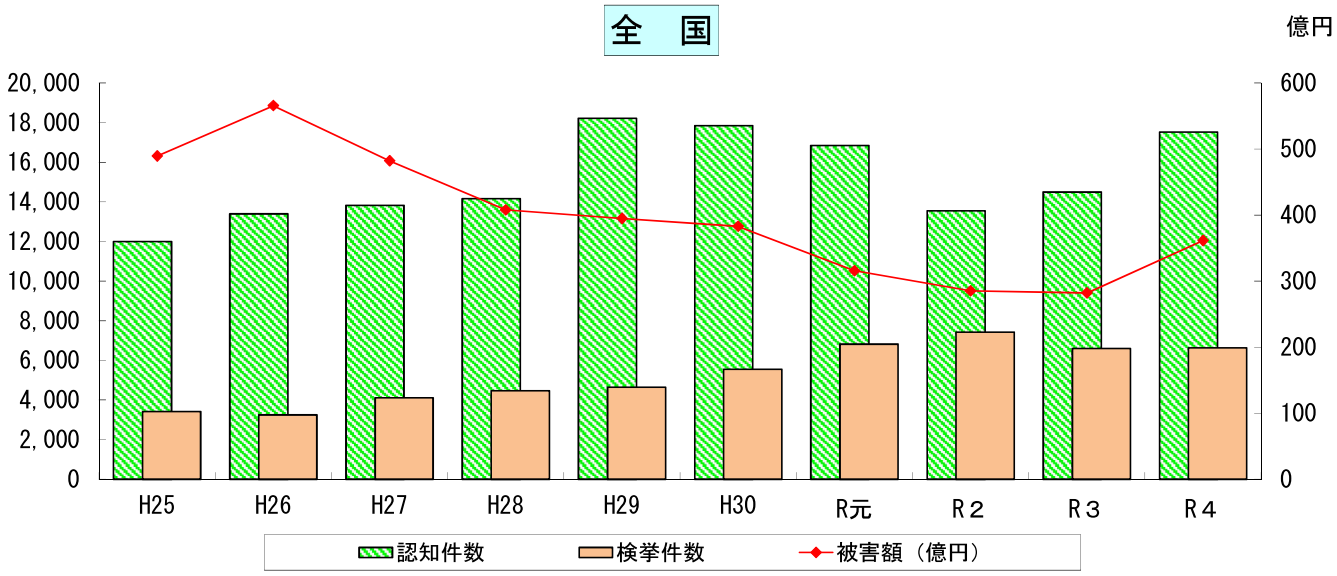
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数	981,233	897,259	807,560	723,148	655,498	582,141	532,565	417,291	381,769	407,911
検挙件数	254,822	235,519	226,001	208,646	204,296	190,544	180,897	170,687	161,016	148,122
検挙人員	138,947	131,490	123,847	115,462	109,238	102,369	94,144	88,464	84,360	79,234
検挙率	26.0%	26.2%	28.0%	28.9%	31.2%	32.7%	34.0%	40.9%	42.2%	36.3%

本県の窃盗犯認知件数は、平成16年をピークに17年連続で減少していたものの、令和4年は7，321件（前年比＋1，129件）と増加した。
また、検挙率は10年連続で40%を超えており、全国の検挙率を上回っている。
全国の窃盗犯認知件数は、平成14年をピークに19年連続で減少していたものの、令和4年は40万7，911件（前年比＋2万6，142件）と増加した。

５　特殊詐欺認知・検挙状況



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数	161	261	194	222	253	237	263	185	217	217
検挙件数	45	61	130	114	107	121	149	162	190	196
検挙人員	31	41	71	47	48	56	48	58	50	36
被害額（万円）	65, 381	86, 303	67, 347	57, 438	42, 354	41, 834	60, 426	39, 684	40, 563	56, 637



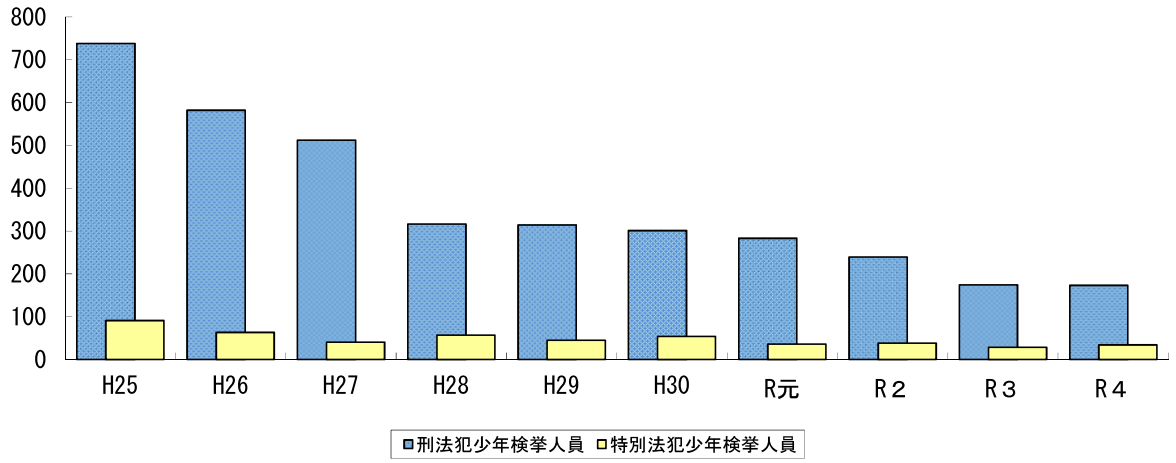
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
認知件数	11, 998	13, 392	13, 824	14, 154	18, 212	17, 844	16, 851	13, 550	14, 498	17, 520
検挙件数	3, 419	3, 252	4, 112	4, 471	4, 644	5, 550	6, 817	7, 424	6, 600	6, 629
検挙人員	1, 774	1, 985	2, 506	2, 369	2, 448	2, 837	2, 861	2, 621	2, 374	2, 469
被害額（億円）	489. 5	565. 5	482. 0	407. 7	394. 7	382. 9	315. 8	285. 2	282. 0	361. 4

令和4年の本県の特殊詐欺認知件数は、217件（前年比±0件）と前年と同数だった。
また、被害額については、約5億6，637万円（前年比＋約1億6，074万円）と、前年に比べ増加した。
全国の令和4年の特殊詐欺検挙件数は、6，629件（前年比＋29件）で、前年からやや増加した。
また、被害額については、約361億4千万円（前年比＋79億4千万円）と前年に比べ増加した（令和4年の数値は、本県及び全国共に暫定値）。

※　平成３０年以降は、キャッシュカード詐欺盗を含む。

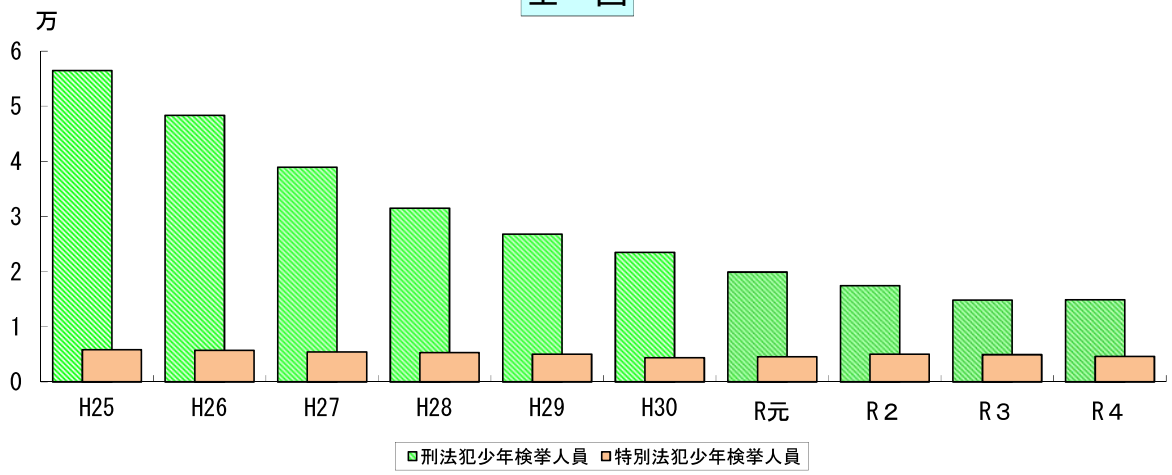
６　少年犯罪検挙人員状況

群馬県



		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
刑法犯少年検挙人員		738	582	512	316	314	301	283	239	174	173
	凶悪犯	5	15	4	10	5	8	15	2	10	8
	粗暴犯	100	111	82	46	57	44	62	50	36	40
	窃盗犯	441	300	293	180	178	165	145	114	72	76
	その他	192	156	133	80	74	84	61	73	56	49
特別法犯少年検挙人員		91	63	40	57	45	54	36	38	28	34

全　国

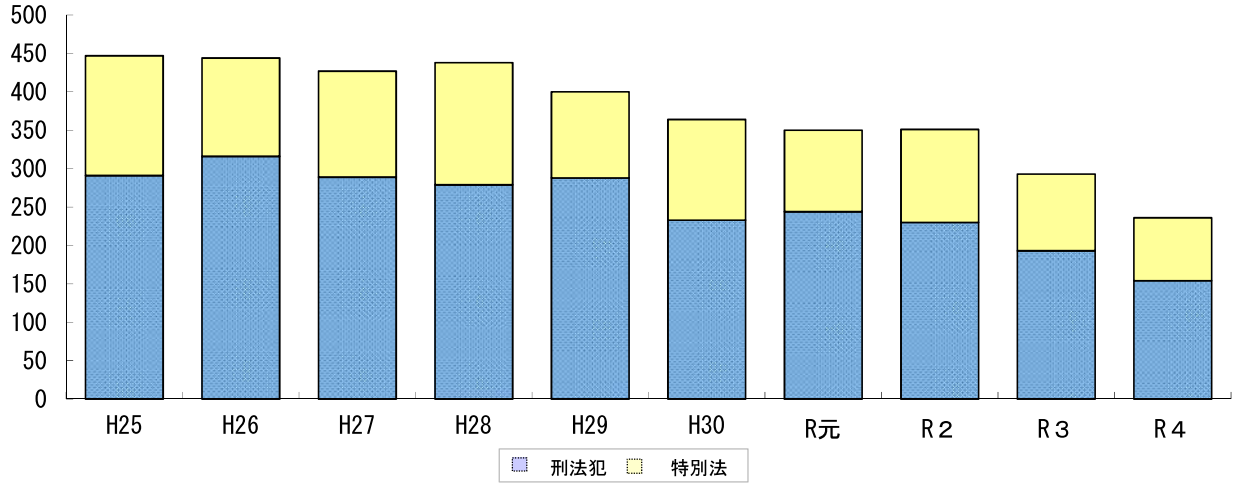


		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
刑法犯少年検挙人員		56,469	48,361	38,921	31,516	26,797	23,489	19,914	17,466	14,818	14,887
	凶悪犯	786	703	586	538	438	463	457	522	410	495
	粗暴犯	7,210	6,243	5,093	4,197	3,619	3,623	3,484	3,060	2,815	2,844
	窃盗犯	33,134	28,246	23,015	18,298	15,575	13,163	10,813	9,222	7,421	7,503
	その他	15,339	13,169	10,227	8,483	7,165	6,240	5,160	4,662	4,172	4,045
特別法犯少年検挙人員		5,830	5,720	5,412	5,288	5,041	4,354	4,557	5,022	4,940	4,639

令和４年の本県の刑法犯少年検挙人員は、１７３人(前年比－１人)と、平成２５年から約８割減少した。
全国の刑法犯少年検挙人員についても、令和４年は１万４，８８７人(前年比＋６９人)と、本県と同様に平成２５年から約８割減少した。

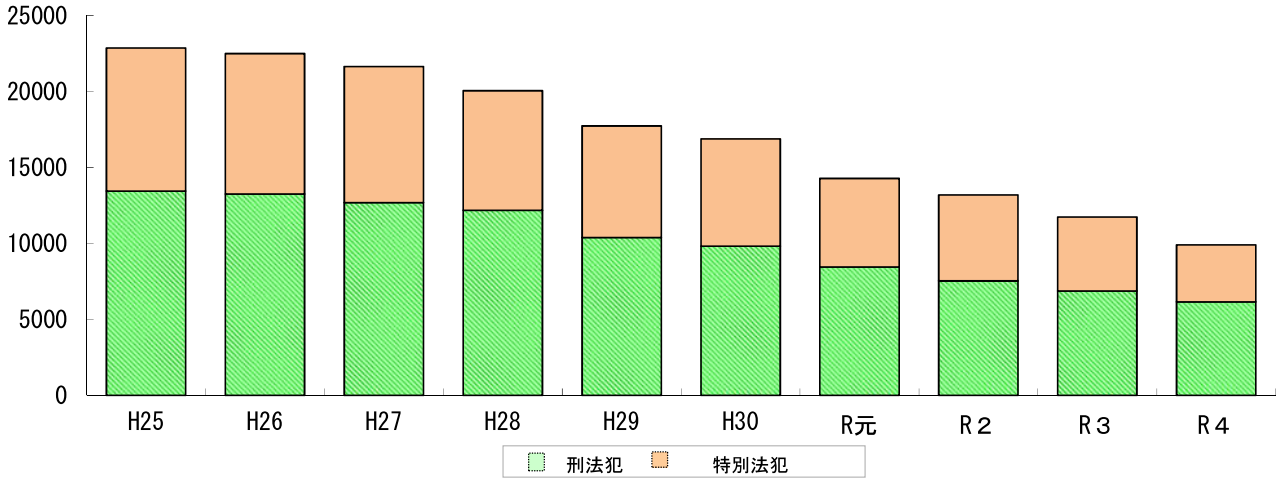
7　暴力団犯罪検挙人員状況

群馬県



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
暴力団犯罪検挙人員	447	444	427	438	400	364	350	351	293	236
うち刑法犯	291	316	289	279	288	233	244	230	193	154
うち特別法犯	156	128	138	159	112	131	106	121	100	82

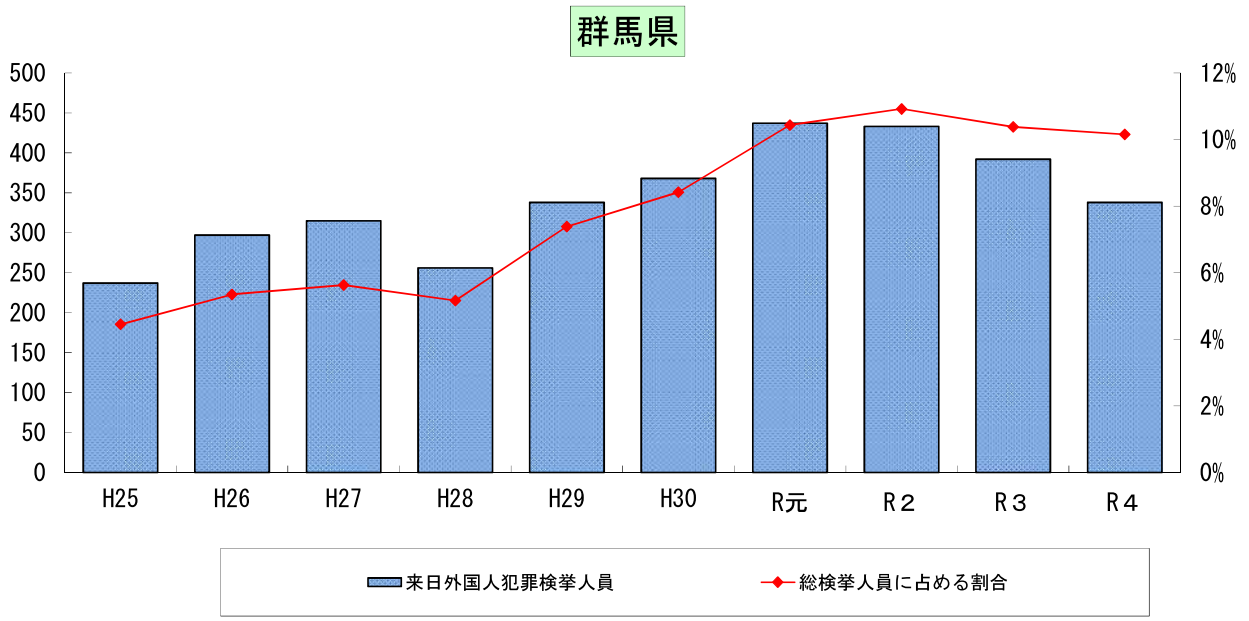
全　国



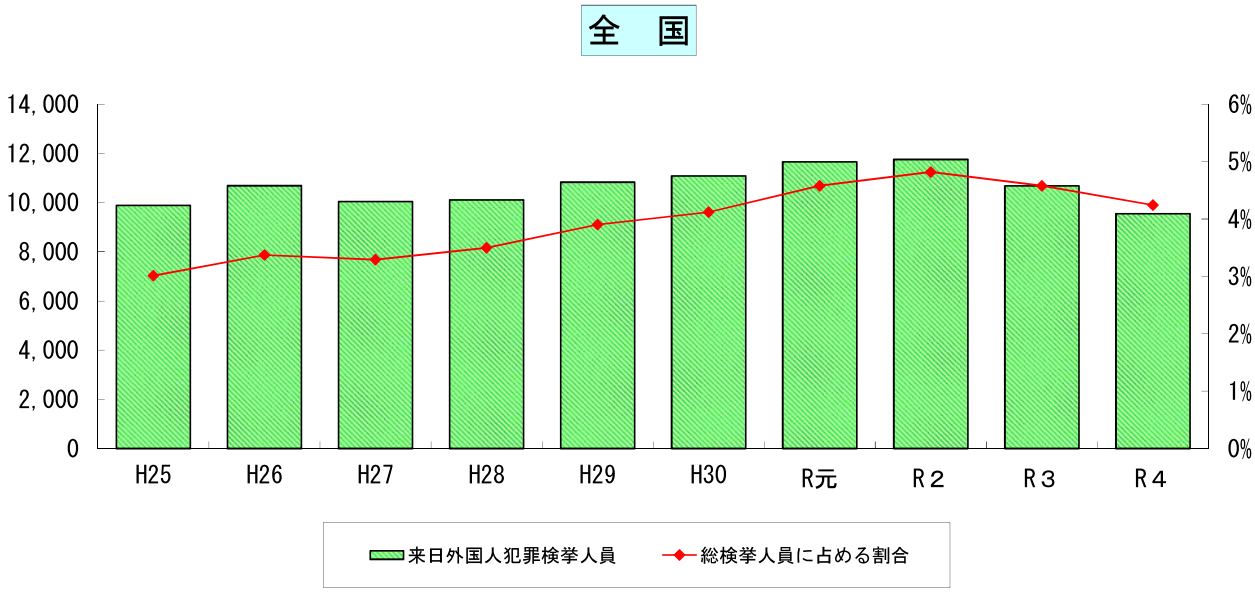
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
暴力団犯罪検挙人員	22,861	22,495	21,643	20,050	17,737	16,881	14,281	13,189	11,735	9,903
うち刑法犯	13,447	13,253	12,690	12,177	10,393	9,825	8,445	7,533	6,875	6,155
うち特別法犯	9,414	9,242	8,953	7,873	7,344	7,056	5,836	5,656	4,860	3,748

本県の暴力団犯罪検挙人員は、増減を繰り返しながらも減少傾向にあり、令和4年は、236人（前年比－57人）と、過去10年で最少となった。
全国の暴力団犯罪検挙人員についても、平成25年から10年連続で減少しており、令和4年は9，903人（前年比－1，832人）と、過去10年間で最少となった。

８　来日外国人犯罪検挙人員状況



		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
総検挙人員		5, 328	5, 551	5, 594	4, 956	4, 576	4, 370	4, 186	3, 965	3, 776	3, 328
	うち来日外国人犯罪検挙人員	237	297	315	256	338	368	437	433	392	338
	総検挙人員に占める割合	4. 4%	5. 4%	5. 6%	5. 2%	7. 4%	8. 4%	10. 4%	10. 9%	10. 4%	10. 2%
	全国順位	3	2	3	4	3	2	1	1	1	1



		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
総検挙人員		328, 113	316, 965	304, 868	289, 016	277, 472	268, 988	254, 421	243, 927	233, 197	225, 048
	うち来日外国人犯罪検挙人員	9, 884	10, 689	10, 042	10, 109	10, 828	11, 082	11, 655	11, 756	10, 677	9, 548
	総検挙人員に占める割合	3. 0%	3. 4%	3. 3%	3. 5%	3. 9%	4. 1%	4. 6%	4. 8%	4. 6%	4. 2%

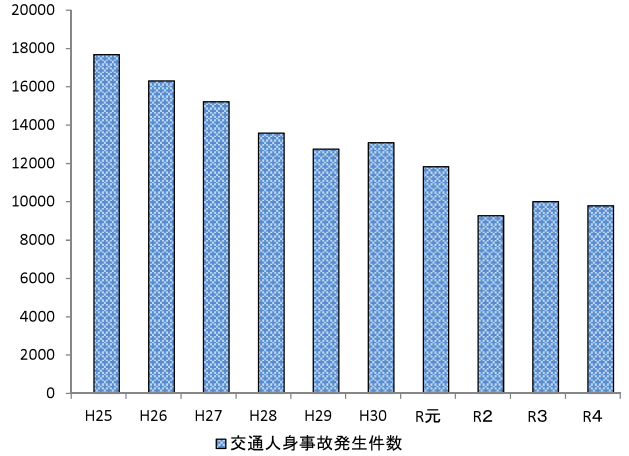
令和4年の本県の来日外国人犯罪検挙人員は、338人（前年比－54人）と、平成25年と比較して約1．4倍となった。また、本県の総検挙人員に占める来日外国人の割合は10．2%と、4年連続全国第1位となった。

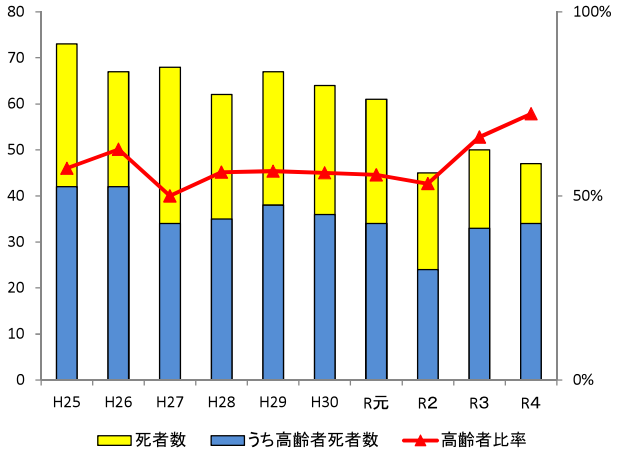
全国の令和4年の来日外国人犯罪検挙人員は、9，548人（前年比－1，129人）であり、総検挙人員に占める来日外国人の割合は、4．2%と過去5年間でほぼ横ばいとなっている。

※　総検挙人員は、刑法犯検挙人員と特別法犯検挙人員の合計である。

９　交通人身事故発生状況

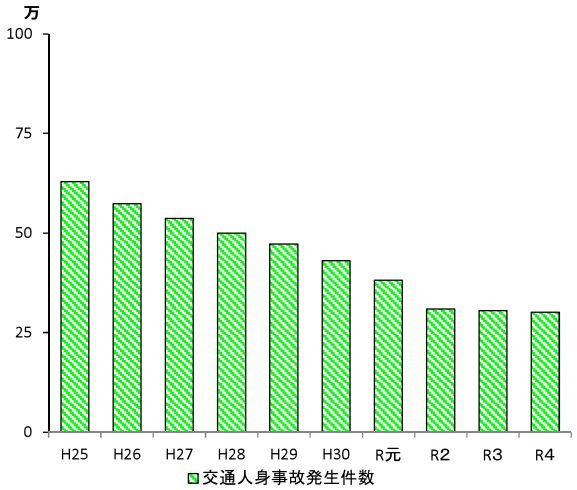
群馬県

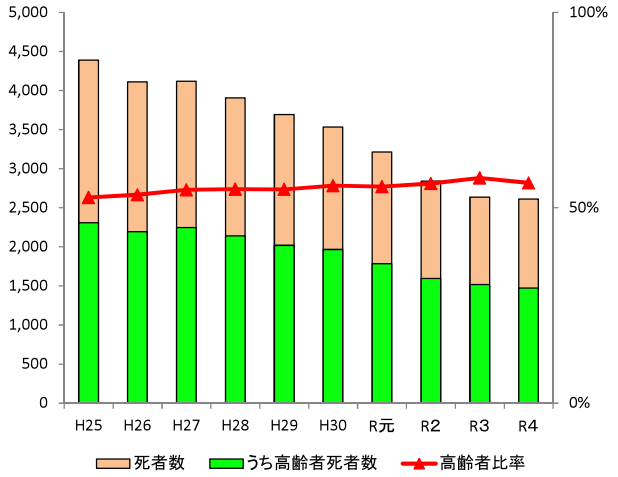




		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
交通人身事故発生件数		17, 682	16, 316	15, 229	13, 574	12, 745	13, 087	11, 831	9, 266	10, 007	9, 803
	人口１０万人当たり	881	813	758	676	646	663	600	470	516	506
	全国順位	5	5	6	6	5	4	4	2	2	2
死者数		73	67	68	62	67	64	61	45	50	47
	高齢者死者数	42	42	34	35	38	36	34	24	33	34
	高齢者比率	57. 5%	62. 7%	50. 0%	56. 5%	56. 7%	56. 3%	55. 7%	53. 3%	66. 0%	72. 3%
負傷者数		22, 693	20, 649	19, 490	17, 279	16, 236	16, 727	14, 845	11, 624	12, 308	12, 072

全　国





		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
交通人身事故発生件数		629, 033	573, 842	536, 899	499, 201	472, 165	430, 601	381, 237	309, 178	305, 196	300, 839
	人口１０万人当たり	491	448	419	390	372	339	300	243	242	239
死者数		4, 388	4, 113	4, 117	3, 904	3, 694	3, 532	3, 215	2, 839	2, 636	2, 610
	高齢者死者数	2, 309	2, 193	2, 247	2, 138	2, 020	1, 966	1, 782	1, 596	1, 520	1, 471
	高齢者比率	51. 4%	52. 6%	53. 3%	54. 6%	54. 8%	54. 7%	55. 7%	55. 4%	57. 7%	56. 4%
負傷者数		781, 492	711, 374	666, 023	618, 853	580, 850	525, 846	461, 775	369, 476	362, 131	356, 601

令和4年の本県の交通人身事故発生件数は、9，803件（前年比－204件）、負傷者数は、12，072人（前年比－236人）、死者数は、47人（前年比－3人）といずれも減少となった。
全国の交通人身事故は、発生件数・負傷者数共に平成17年以降18年連続で減少し、令和4年の死者数についても2，610人（前年比－26人）と減少し、昭和28年以降で最少となった。

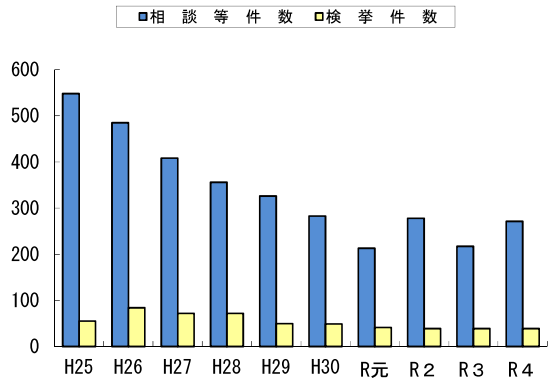
※ この頁の人口１０万人当たりの基になる人口については、各年の前年の人口であり、各年総務省統計資料「国勢調査」又は「人口推計」（各年１０月１日現在人口）を使用

10　ストーカー事案及び配偶者からの暴力事案対応状況

（１）　ストーカー事案

区分＼年別		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
相談等件数		548	485	408	356	326	283	213	278	217	271
警告		82	124	96	98	80	53	46	44	49	68
禁止命令		3	13	7	8	10	31	20	24	22	24
援助		315	300	244	239	213	208	150	224	176	290
検挙	ストーカー規制法	20	31	14	25	28	28	14	13	11	15
	その他の法令	35	53	58	47	22	21	27	26	28	24

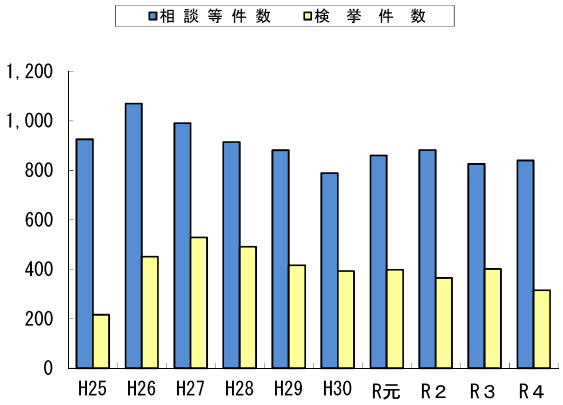
令和4年のストーカー事案の相談等件数は、271件（前年比＋54件）と増加し、警告件数も68件（前年比＋19件）と増加した。



（２）　配偶者からの暴力事案

区分＼年別		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
相談等件数		925	1,070	991	914	881	789	860	882	826	840
保護命令		37	34	26	20	13	20	20	19	15	11
援助		494	584	476	347	361	286	308	396	404	406
検挙	配暴法	5	1	1	1	0	0	0	1	1	0
	その他の法令	211	450	528	490	416	393	398	364	400	315

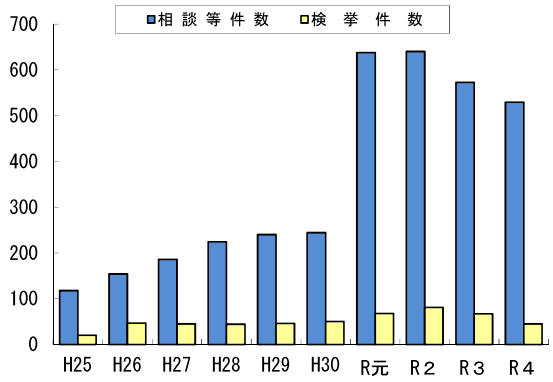
令和４年の配偶者からの暴力事案の相談等件数は、840件（前年比＋14件）と増加し、援助件数も406件（前年比＋2件）で増加するも、検挙件数は315件（前年比－86件）で減少した。



11　児童虐待事案対応状況

区分＼年別		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
相談等件数		118	154	186	224	240	244	638	640	573	529
検挙件数		20	47	45	44	46	50	68	81	67	45
	殺人（未遂含む。）	0	1	1	0	0	1	2	3	3	0
	傷害（傷害致死含む。）	14	25	25	26	27	27	35	37	22	13
	暴行	1	10	13	15	11	19	23	33	34	25
	その他	5	11	6	3	8	3	8	8	8	7

令和4年の児童虐待事案の相談件数は、529件（前年比－44件）、検挙件数は45件（前年比－22件）と、いずれも減少した。

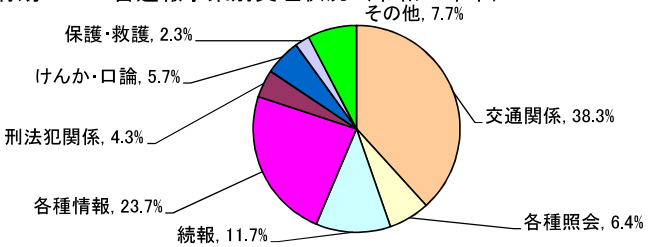


12　１１０番通報受理状況

(1)　有効１１０番通報受理状況

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
群馬県	126, 799	129, 370	122, 426	119, 308	120, 349	121, 351	122, 545	108, 316	113, 361	119, 800
全国	9, 414, 827	9, 350, 926	9, 228, 841	9, 092, 710	9, 014, 918	9, 159, 177	9, 095, 440	8, 398, 699	8, 669, 245	9, 376, 761

(2)　有効１１０番通報事案別受理状況（令和４年中）

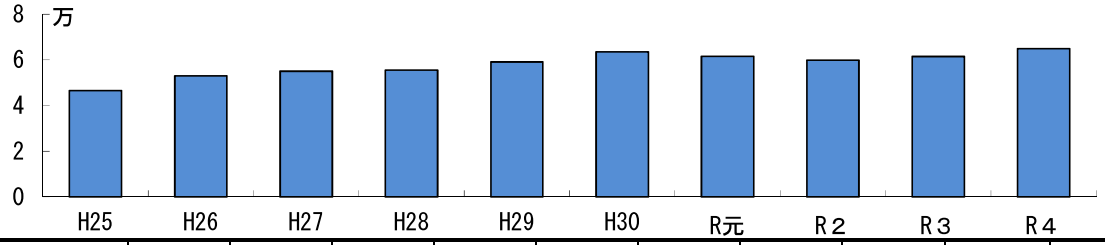


全体の約4割（38．3%）が、交通関係の通報となっている。
また、携帯電話からの通報は96，765件で、全体の80．8%を占めている。

区分	交通関係	各種照会	続報	各種情報	刑法犯関係	けんか・口論	保護・救護	その他	合計
件数	45, 834	7, 691	14, 028	28, 346	5, 196	6, 782	2, 724	9, 199	119, 800

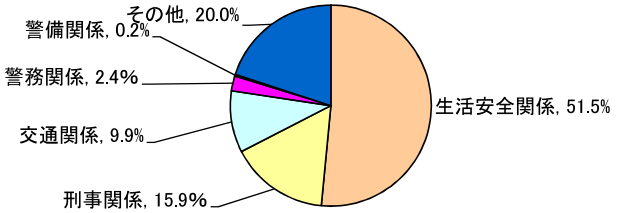
13　警察安全相談受理状況

(1)　警察安全相談受理状況



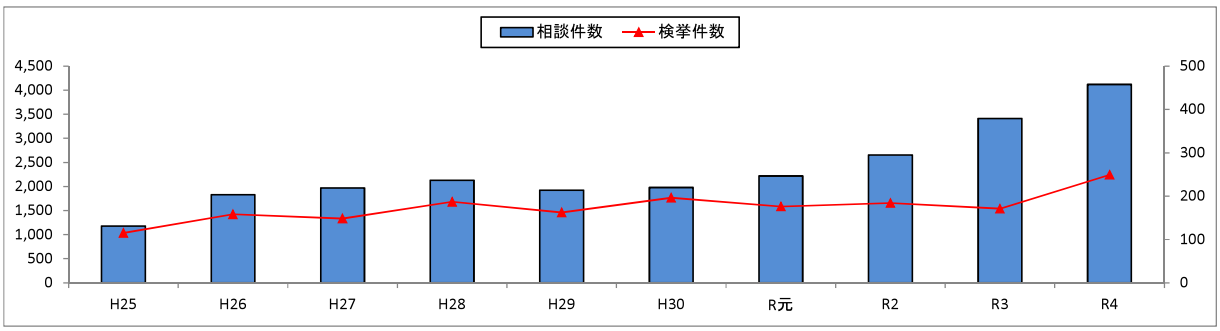
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
受理件数	46, 568	53, 003	55, 053	55, 523	59, 138	63, 525	61, 610	59, 896	61, 547	64, 939

(2)　警察安全相談内容別受理状況（令和４年中）



内容別	生活安全関係	刑事関係	交通関係	警務関係	警備関係	その他	合計
件数	33, 451	10, 343	6, 454	1, 559	156	12, 976	64, 939

14　サイバー犯罪の相談・検挙状況

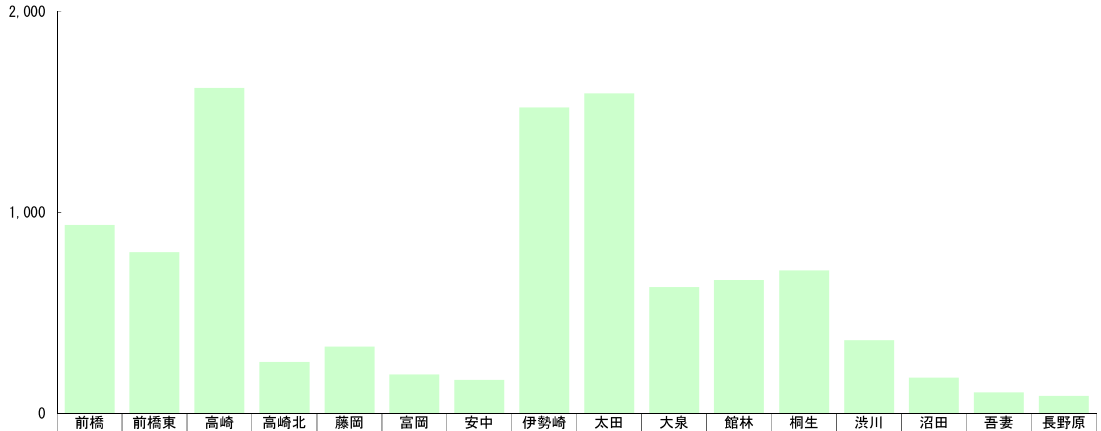


	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R２	R３	R４
相談件数	1, 177	1, 830	1, 969	2, 131	1, 926	1, 977	2, 219	2, 651	3, 411	4, 118
検挙件数	115	158	148	187	162	196	176	184	171	249

令和４年のサイバー犯罪の相談件数は、４，１１８件（前年比＋７０７件）、検挙件数は２４９件（前年比＋７８件）と、いずれも過去１０年間で最多となった。

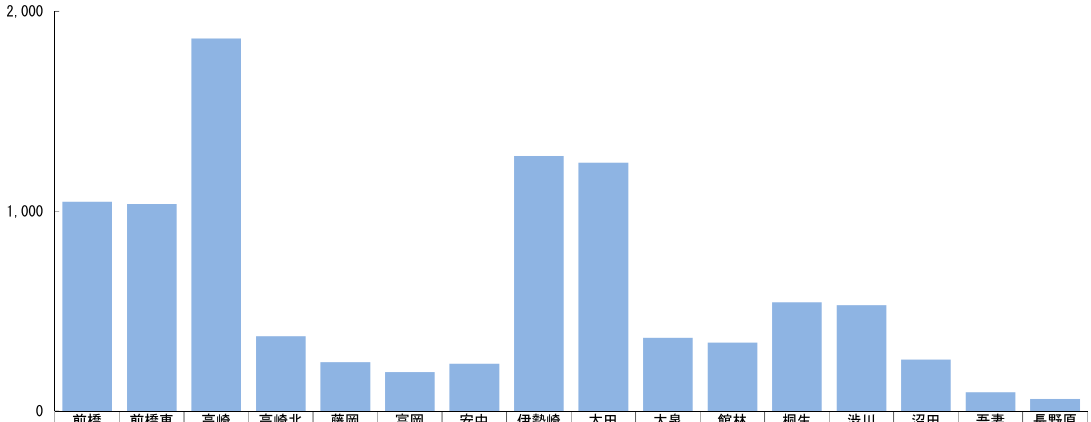
15　警察署別治安状況（令和４年中）

（１）　刑法犯認知件数



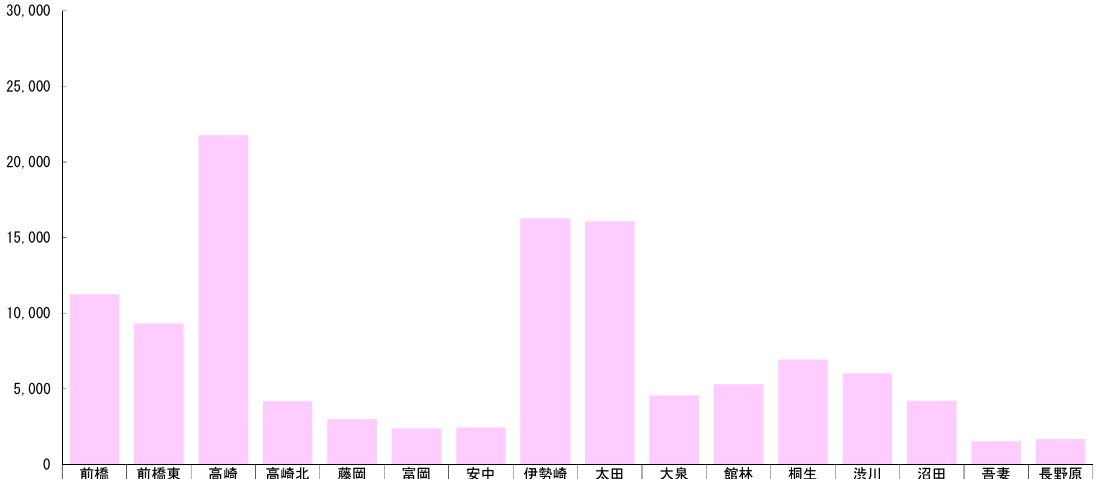
	前橋	前橋東	高崎	高崎北	藤岡	富岡	安中	伊勢崎	太田	大泉	館林	桐生	渋川	沼田	吾妻	長野原
刑法犯認知件数	938	802	1,620	255	332	193	166	1,522	1,594	629	664	711	364	177	105	87

（２）　交通人身事故発生件数



	前橋	前橋東	高崎	高崎北	藤岡	富岡	安中	伊勢崎	太田	大泉	館林	桐生	渋川	沼田	吾妻	長野原
交通人身事故発生件数	1,047	1,035	1,864	375	246	196	237	1,277	1,243	367	343	545	531	258	95	60

（３）　１１０番通報受理件数



	前橋	前橋東	高崎	高崎北	藤岡	富岡	安中	伊勢崎	太田	大泉	館林	桐生	渋川	沼田	吾妻	長野原
１１０番通報受理件数	11,244	9,320	21,766	4,178	2,998	2,387	2,453	16,272	16,072	4,566	5,297	6,936	6,029	4,209	1,548	1,680

※　高崎北署は、令和4年4月1日からの数値であり、令和4年1月1日から3月31日までの数値は高崎署に含まれる。